

昆虫特異的な新奇形態の Evo-Devo研究

新美輝幸（基礎生物学研究所・進化発生研究部門教授）

雄

正常な個体

雌



性差を司る遺伝子の働きをなくした個体

本来は雄

本来は雌



C-Bio Seminar 37th

2015年11月9日 月曜日 13:30～15:30

ゲノミクス研究棟セミナー室

問合せ先：バイオサイエ
ンス教育研究センター
事務補佐員：松本華子
Tel 028-649-5527
E-mail:
c-bio@cc.utsunomiya-u.ac.jp

昆虫は、地球で最も多様性に富み、その種数は数百万にも及びます。地球上に出現して4億年以上にわたる進化の歴史の中で、あらゆる環境に適応するために、昆虫は様々な形質を多様化させてきました。昆虫がこのような多様な形態を獲得した進化

プロセスを解明すべく、私たちは遺伝子レベルで昆虫のかたち作りの仕組みを調べています。本セミナーでは、昆虫がもつ多様な形態のなかで特に、「翅」と「角」に焦点を絞って、最新の研究成果について紹介します。